

ニュースピークはオセアニアの公式言語で、その支配的イデオロギー的な必要性を満たすために作り出されたものだった。1984年の段階では、話す場合も書く場合も使う人はいなかった。最終的には2050年頃までにオールドスピークと交替することが期待されていた。そして、私たちがここで関心を持っているのは最終の完成版、第11版に具体化されているものだ。

ニュースピークの目的は、国のイデオロギーの信奉者に合わせて世界観や精神習慣を表現するための媒体を提供するだけでなく、他のあらゆる思考形態を不可能にすることだった。その語彙はパーティのメンバーが適切に表現したい意味に対し、一つの正確で緻密な表現を与えるように作られた。他の意味、あるいは間接的にそれにつながる可能性も排除された。例えば、「フリー」には「ない」という意味だけで、「政治的に自由」「知的な点で自由」などの意味は使うことができなかった。つまり、それは思考の範囲を広げるようにではなく、狭めるように設計されていた。この目的の達成には、言葉の選択肢を最小限にまで削ることが間接的に有効であるとされた。



ニュースピークはオセアニアの公式言語で、その支配的イデオロギー的な必要性を満たすために作り出されたものだった。1984年の段階では使う人はいなかった。最終的には2050年頃までにオールドスピークと交替することが期待されていた。そして、私たちがここで関心を持っているのは最終の完成版、第11版の辞書に具体化されているものだ。

この言語の目的は、イデオロギーの信奉者に適した世界観などを表現するための媒体を提供するだけでなく、他のあらゆる思考形態を不可能にすることだった。その語彙は一つの正確な表現を与えるように作られた。他の意味、あるいは間接的にそれにつながる可能性も排除された。例えば、「フリー」は「ない」という意味だけで、「政治的に自由」「知的な点で自由」の意味は使えなかった。それは思考の範囲を広げるようにではなく、狭めるように設計されていた。それには言葉の選択肢を最小限にまで削ることが間接的に有効とされたのだ。



ニュースピークはオセアニアの公式言語で、その支配的イデオロギーの必要性を満たすために作り出された。1984年の段階では使う人はなかった。最終的には2050年頃までにオールドスピークと交替することが期待されていた。私たちが関係しているのは最終版、第11版の辞書に具体化されているものだ。

この言語の目的は、イデオロギーの信奉者に適した世界観などを表現するための媒体を提供するだけでなく、他のあらゆる思考形態を不可能にすることだった。その語彙は一つの正確な表現を与えられ、他の意味あるいは間接的にそれにつながる可能性は排除された。例えば、「フリー」は「ない」という意味だけで、「政治的に自由」「知的な点で自由」の意味は使えなかった。それは思考の範囲の拡大ではなく、縮小するように設計されていた。言葉の選択肢を最小限にまで削ることが目的達成に有効とされた。